

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	いせ市民活動センター	所在地	伊勢市岩淵1丁目2番29号
指定管理者名	特定非営利活動法人いせコンビニネット	指定期間	令和4年4月1日から令和6年3月31日まで
設置目的	市民公益活動を支援するとともに、市民の交流する場として利用に供することにより、市民の福祉の増進及び文化の向上並びに地域の振興に寄与するため。		
業務内容	1. センターの事業実施に関する事(市民公益活動に関する事) 1. センターの維持管理に関する事 1. センターの管理管理に関する事 1. センターの利用に関する事		
施設概要	施設面積 2,463㎡ 南館:鉄骨造 北館:鉄筋鉄骨コンクリート造 南館:地上2階 事務室・会議室3・貸ブース6 北館:地下1階 地上2階 事務室1・会議室2・ホール2		
職員体制	センター長1名・常勤職員3名・非常勤職員1名		
施設所管課名	市民交流課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	14,900,000	15,372,146	15,300,000	△ 72,146
		利用料金	7,175,339	7,791,035	8,132,890	341,855
		その他	1,171,660	90,088	90,088	0
		計(a)	23,246,999	23,253,269	23,522,978	269,709
	支出	人件費	13,802,257	14,107,856	14,205,829	97,973
		管理運営費	8,790,447	9,631,691	9,780,658	148,967
		その他				0
		計(b)	22,592,704	23,739,547	23,986,487	246,940
	収支差引額(a)-(b)		654,295	△ 486,278	△ 463,509	22,769

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	【収入】少しですが施設の利用が増えた ※昨年度と比べるとほとんど増減はなかった
----------------------------------	--

3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>施設管理・運営並びに市民活動団体への支援については、概ね計画通り実施できた。広報事業は、広報誌「パルティ」の発行、ホームページでの情報発信、広報いせや伊勢市行政チャンネルの活用などによって市民活動への関心を高めるよう努めた。交流事業については、防災講座、オンラインによる登録団体交流会、チャリティイベントなどほぼ予定通り開催できた。昨年に引き続きいせ市民活動フェスティバルを開催することができ、当センターの周知や団体間交流など大きな成果をあげることができた。また、相談事業やニーズに応じた講習事業、消毒用アルコールの無償提供などの取り組みを推進した。</p> <p>能登半島地震に対しては、「つながりプロジェクト募金」より、支援金として県ボラセンを通じて送金した。また、市民活動支援に向けた自主財源確保のためのコーヒー販売積立については、その一部を前述の交流会において有効活用できたことなど評価できる。</p>	<p>市民活動団体への支援については、相談事業や講習事業などの支援などが適切に行われていた。コロナ禍により利用が拡大したZoomに対応するため講習会を開くなど、活動再開を目指す団体のサポートにも努めていた。高校生いせミライプロジェクトへの協力や、伊勢市ボランティアセンターとの連携にも継続して取り組んでいた。</p> <p>令和4年度に高騰し、令和5年度も支出の増加が懸念されていた電気料金も削減された。引き続き経費節減に努めてもらいたい。</p> <p>コロナ禍での制限も緩和され、施設利用率も回復してきたことから、今後も各団体の状況の把握に努めながら、必要な事業を積極的に進めてもらいたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

いせ市民活動センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	施設の目的である「健康や福祉の増進」に資することができた。	A	施設利用の状況及び内容から施設の設置目的は達成された。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	コロナ禍前とまではいかないが、新型コロナウイルス感染症の感染症法の5類移行により、利用者数も少しずつ増加してきた。	B	コロナ禍前に戻る程ではなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染症法の5類移行に伴い利用者も増加傾向がみられた。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書にそって、供用日数・供用時間は確保した。	A	施設の運営は適切に行われていた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者、業務担当者を設定し、適正な配置による勤務体制が取れた。	A	適切な勤務体制により運営されていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	業務報告や必要に応じた業務打合せを行い意思疎通を図った。	A	随時、管理運営における連絡調整が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録、整備・修繕等の各種管理記録を整理保管している。	A	適切に整理保管されていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	広報活動や自主事業の積み上げによって、活動について市民に認知されつつあるが、まちづくり協議会との交流機会は今後も取り組み課題の一つである。	B	広報活動や自主事業を通じ、市民へ活動の周知は図れていたが、まちづくり協議会との交流については課題である。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可申請等の取扱いは、個人情報保護の立場からも慎重かつ適正に処理した。	A	適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿はもれなく作成し、適正に徴収した。	A	適正に管理されていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	担当者により、毎月チェックを行った。また個人情報保護についての研修会も実施した。	A	適切な取扱いがされていた。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	労働基準法、個人情報保護法等各種法令を理解し、遵守した。	A	各種関係法令を遵守していた。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

いせ市民活動センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	B	利用者からの意見を可能な限り反映させ、サービス提供に努めた。	B	施設利用後のアンケートにより意見収集を実施し、可能なものから順次対応するなど、利便性向上に努めていた。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	A	定例会、あるいは必要に応じたミーティングにより情報共有を行い、サービス水準の確保に努めた。	A	サービス水準確保のための取り組みがなされていた。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	広報誌「パルティ」の定期的発行をはじめ、ホームページや市広報、ZTV等様々な媒体を通じて情報発信を行った。	A	広報誌「パルティ」、ホームページ、市広報、ZTV等の媒体を活用し、情報発信が行われていた。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	非常時のマニュアルの見直しや職員による消防等訓練を実施し緊急時の対応に備えている。	A	非常時マニュアルの見直し、職員の消防、避難等の訓練を年2回実施するなど、非常時の体制整備がされていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	迅速かつ適切な苦情処理体制を整えている。	A	適切に処理されていた。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	コロナ禍での経験を活かし、オンラインを活用したり内容を工夫して健康管理に留意しながら、計画通り事業を展開した。	A	コロナ禍を経てオンラインでの会議開催など、今のニーズに沿った事業が実施されていた。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業終了ごとに報告書を作成し、成果や課題を検証し次回に反映できるよう努めた。	A	適切に行われていた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	定期的に安全点検、機能確認、環境整備を行っている。	A	定期的な保守点検や職員の清掃活動等による環境整備が行われていた。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	丁寧な扱いを心掛け、破損・紛失等はなかった。	A	適切に管理されていた。
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	自主修繕・業者依頼等その状況により市とも連携しながら適切に処理した。	A	適切に処理されていた。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	計画的な清掃を行い、清潔感を保持している。	A	適切に行われた。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は、定められたしかも施錠できる場所に保管している。	A	適切に行われた。